

浜嶋です。

おはようございます。

「災害は、忘れたころにやってくる」という言葉があります。

事故も油断をしていると発生します。

毎年行っているスキー行事は、いつも事故が起きないことを祈って、スカウトや指導者に気持を引き締めるように

注意を促しています。

それは、私が吹田19団で2年連続事故を体験したからです。今でも忘れていません。

2団では、スキーで10年以上事故が起きていないですが、安全意識を高く持っていたただいているからだと感謝しています。

日常の隊集会、特に夏季のプログラムには、事故を発生させない注意力と安全対策が必要です。

今回、各隊で事故時の対応訓練を予定しています。

事故が起きたらどうすればいいのかを熟知しておいて、事故発生時の速やかな対応を行えるようにします。

事故が起きると思って行うのではありません。

この目的は2つあります。

1つは、実際に事故が起きた時の対応を迅速に行うことを体験しておくこと。

もう1つは、訓練を通じて事故を起こさない危機管理対策をしっかりとできる意識と具体的対策を講じることが

できるようにすることです。こちらに重きをおいてほしいと思います。

自分の安全は自分で守ることが、一番重要です。

スカウトの安全は、指導者や保護者が守ってあげましょう。

隊でも家庭でも、スカウトと話し合いをすることで、自己判断力を高めてほしいです。

・初めての活動場所では、危険な場所の認識を全員で共有し、そこには近づかないこと。

・刃物の使用は、正しい使用方法を学び、自分自身と周囲の安全確保をしっかりと行うこと。

・火の使用は、安全な装備で、周囲を整理整頓して行うこと。

・水遊びは、注意事項をよくきくこと。勝手な行動をしないこと。単独の行動をしないこと。

・自分の体調をよく把握して、異常があったときには、すぐに指導者に相談すること。

他にも具体的にいろいろあります。

様々な場所で話し合って、上手にできることがスカウトの誇りとなるように、そして安全管理もできるように

ノウハウを身に付けてほしいと思います。

楽しい思い出は、安全第一の活動から生まれます。

スカウトも指導者も相互に気をつけて、思い切り楽しい夏の思い出を作ってほしいと思います。